

共同研究
第2回ヒト培養細胞を用いた in vitro 遺伝毒性評価系の確立
- ヒト S9 の利用 -
の提案

2001.02.07

発起人代表 本間正充

一昨年より開始いたしました共同研究「ヒト培養細胞を用いた in vitro 遺伝毒性評価系の確立」は、28 研究機関の参加のもと、14 化合物が試験され、そのほとんどが終了しました。その共同研究の成果は今年の ICEMS で発表し、現在、論文作成中です。共同研究の実施に関しては多くの方のご協力を頂きました。この場を借りて御礼いたします。

さて、この共同研究の第2弾として「ヒト培養細胞を用いた in vitro 遺伝毒性評価系の確立 - ヒト S9 の利用 - 」を提案します。本共同研究ではヒト型の in vitro 遺伝毒性試験の確立を目指しております。これは、ヒトへの安全性を評価するには、ヒト細胞を用いることが最も適した系であるという単純な発想に基づくものです。ヒト型の試験系を構築する上では薬物代謝は重要な因子ですが、第一回共同研究では時間的制約などからこの問題に取り組むことはできませんでした。第2回共同研究では、ヒト培養細胞を用いたコメット試験、小核試験、遺伝子突然変異試験に、ヒト S9 を加える系を構築し、ヘテロサイクリックアミン等の薬物代謝を必要とする化合物について遺伝毒性の評価を行うことを目的とします。

共同研究に参加希望の方、興味のある方は連絡下さい（3月中旬まで）。質問等はいつでも受け付けます。共同研究には部分的に参加することも可能ですので、すべての試験が実施できなくてもかまいません。また、共同研究を中心的に進めていく世話人の方も同時に募集しております。4月中旬に世話人会を開催し、体制や具体的な進め方を話し合いたいと考えております。

本間正充

国立医薬品食品衛生研究所・変異遺伝部
158-8501 東京都世田谷区上用賀 1-18-1
TEL: 03-3700-9847 FAX: 03-3700-2348
E-mail: honma@nihs.go.jp